

●●●●●「九州オルレ認定の取り組みは」Q&A ●●●●●

今回の質問は「九州オルレ認定の取り組みは」と「本市の未来につながる官学連携は」の2項目です。オルレで宗像ブランドをアピールするためにも韓国人旅行者の情報を得て準備を行うことが必要であることを指摘し、産官学連携事業として、東海短大の訪九州韓国人観光客動向調査に参加することを提案しました。

Q1. 九州オルレの現状は

A1. 九州オルレ全体の17カ月の実績では、観光客が1万9,210人。福岡市から最も近く、多くの観光資源もある宗像大島コースは、今後の集客を期待。認定にあたって、大島地区コミュニティ、島民の皆さんの御支援、御協力に感謝する。

Q2. 大島オルレコースの魅力は

A2. 離島であり自然が豊かである。古代より神の島、伝説の島として知られていて韓国との歴史も深い。

Q3. 費用は

A3. 視察、コースの整備費、ベンチ設置代などで約180万円。パンフレット、ポスター、コース紹介のDVD、韓国語看板の作成で約230万円。コースの草刈りなどの維持管理費や九州オルレ協会負担金などで約150万円を予定。

Q4. 経済効果、大島へのメリットは

A4. 飲食、買い物、渡船、宿泊などの経済効果。観光客との交流による活性化。

Q5. 韓国人は団体客と個人旅行者の比率が3対7で個人手配が多い。公共交通機関を利用してオルレに参加する個人旅行者の対応は

A5. 東郷駅が玄関口になる。案内看板とパンフレットの作成で対応。

Q6. 宗像の観光計画の中で、韓国人観光客の誘致をどのように組み込み何をを目指すのか

A6. 今後、韓国に限らず、海外の観光客の誘致もやっていく。宗像市のよさをPRして宗像に来てもらうことを観光戦略の大きな柱として取り組む。

●●●●●「本市の未来につながる官学連携は」Q&A ●●●●●

Q1

本市には三つの大学、福岡教育大学、東海大学福岡短期大学、日本赤十字九州国際看護大学があり多方面で協力関係にある。大学側は地域貢献、地域交流、グローバル化を進め大学の特徴をブランド化する必要性ある。官学連携により大学は知識を実社会で実践し研究を深めるべきと考えるが官学連携の状況は

A1

数多くの連携事業を行っているが市や地域の求めに応じた貢献にとどまっている感もある。大学と市、企業などが連携した共同研究などに取り組んでいく必要がある

最後までお読み頂いてありがとうございます。

この一般質問の動画は市役所ホームページから見る事ができます。また、日々の活動はfacebook【facebook.com/goyo4da】にて。ご意見、ご感想などメッセージ頂ければ励みになります！

●●●●● 吉田ごう 議員活動ダイジェスト ●●●●●



平成25年 12月 第4回定例会 2年目にはいり最初の定例会です。1年間の議員活動で一通りの経験が出来たので新たな目標をもって審議にのぞみました。全体像がつかめたので自分なりの切り口で市政を考えます。

平成26年 1月 志政クラブで沖縄県伊江島へ民泊の会派視察に行きました。大島での民泊事業の可能性とオルレの観光客、修学旅行などの受け入れるしくみ作りを探ります。

2月 社会常任委員会にて宗像市総合計画の所管事務調査を行っています。5年、10年先の宗像のかたちを議論します。広報調査特別委員会では議会でのICT活用でパソコン、タブレット型端末の持ち込みについて議論を行っています。